

意見交換会で出された意見の集約(各区分別)

No.	路線名	市の方針	賛否	意見	回答	会場
①	中里沖田線	存続	賛成	早く整備して、歩行者や自転車が利用できる道路にしてほしい。 (郡中学校への通学時に通行できない。)	現在、国道34号の事業として、『大村諫早拡幅事業』及び『大村拡幅事業』の2つの事業が進行中であるため、事業の進捗を踏まえながら、国への要望を進めていきます。	竹松
			-	国道34号の見直しを、なぜ市が行うのか。	国道34号の所管は国土交通省ですが、都市計画道路であり、見直しについては、市が行うものになります。	竹松
②	竹松駅前原口線	完了	反対	⑤を16mで整備した場合に、この区間を検討し直すことはないか。	現在の道路幅員は、計画幅員(16m)に対して、歩道が狭いことや停車帯がない幅員となります。将来交通量を考慮して、歩道の幅員について検討していきます。	竹松
③	杭出津池田線	廃止	反対	市内での東西の道路が少なく、通学路でもあるため、存続してほしい。	多数の家屋移転やJRの立体交差の整備に費用がかかること、地域コミュニティを分断することから、実現が困難なため廃止としています。ただし、現道がある区間については、歩道整備を検討していきます。	中地区
			-	現状の道路幅員では、歩道整備は難しいと思う。	現状の道路幅員で歩道整備は困難であるため、沿道の用地買収を含め、検討していきます。	中地区
			-	立体交差の必要性があるのか。	JRとの交差は、都市計画道路としての性質や機能から、立体交差とする必要があります。	中地区
④	大村駅前原口線	一部廃止	-	道路の幅員や計画について、いつ頃決定されるのか。	令和3年度の概略設計において、整備効果の検証を行い、中心線や道路幅員を決定します。	中地区
			賛成	優先的に公用地である自衛隊側の用地を活用してほしい。	現計画においても自衛隊用地の一部が必要ですので、協議を進めていきます。	中地区
⑤	大村駅前原口線	一部廃止	反対	存続する区間について、現道部分を広げてまで繋ぐ必要はないのではないか。	④を含めて現道がある区間は、児童の通学路となっており、安全対策の要望もあるため、歩道の整備をしたいと考えています。	竹松
			反対	竹松駅の利用者がかなり多いが、廃止部分の必要性はないか。	必要性は理解していますが、相当数の家屋移転が必要になることから、実現性の面で困難であるため、「廃止」と考えています。	竹松
			-	存続部分については、整備に向けて進めていくのか。	令和3年度の概略設計で、整備効果を検討し、実施するかしないかを決定していくように考えています。	竹松
⑥	古賀島沖田線	存続	-	いつ頃着手をするように考えているのか。	おおむね10年以内に着手したいと考えています。	中地区
			-	幅員は、12mで大丈夫なのか。	令和3年度の概略設計で、幅員についても検討していきます。	中地区
⑦	古賀島沖田線	存続	賛成	用地交渉を始めて、工事着手して完了をどのくらいで進めていくというロードマップはないのか。	用地交渉などの状況で工程が変わってくるため、現段階で完了までについてお示しすることはできませんが、事業を進める過程において、他路線を含めて優先順位を決め、ロードマップもできる限り示していきたいと考えています。	郡コミセン
			-	早めに優先順位を出してほしい。		郡コミセン
その他意見				今後の大村発展には、北部地域の道路が必要になると思う。		市コミセン